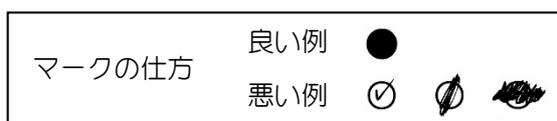


第 56 回 インテリア設計士資格検定

< 2 級学科試験 >

1. 試験時間：1 時間 30 分（午前 10 時 30 分～正午）
2. ページ数：問題=9 ページ（表紙を含まず） 解答用マークシート=3 枚
3. 問題数：19 問 149 アイテム
4. 注意事項
 - (1) 試験監督員の指示があるまで、この表紙は開かないでください。
 - (2) 試験監督員の指示に従って問題のページ数を確認してください。ページ不揃いの場合は手をあげ、取り替えてもらってください。
ページ数は各ページの右下に記入してありますので、記入部分のみ調べてください。
※今回は 1/9 から 9/9 までです。
 - (3) 「開始」の合図で始めてください。
 - (4) 質問があるときは、黙って手をあげてください。ただし、原則として質問には答えられません。
 - (5) 試験終了時間前に解答ができあがった場合は、試験監督員の指示に従ってください。
 - (6) 「終了」の合図と同時に終了し、試験監督員の指示に従って提出・退室してください。
 - (7) この問題用紙はお持ち帰りください。
 - (8) 手洗いに立ちたいときは黙って手をあげ、試験監督員の指示に従ってください。ただし、原則として学科試験中のトイレ休憩は認められません。
 - (9) 携帯電話の電源は、必ず切ってください。
5. 解答用紙(マークシート)の注意事項
 - (1) 受験票に記載の協会名(都道府県名のみ)と、氏名、フリガナを記入してください。
受験番号は、1 マスに 1 文字を記入し、それに対応する位置にマークしてください。
 - (2) マークは、H B 以上の濃さの鉛筆で○内を確実に塗りつぶし、外にはみ出さないようにしてください。



- (3) 解答数以上マークした場合は、間違いになります。
- (4) 訂正は消しゴムで確実に消してください。消しきずや汚れがあると、読み取り機の誤作動で採点ミスになることがありますので、十分注意してください。
- (5) 所定欄以外にマークしたり、記入したりしないでください。
- (6) 汚したり、ホッチキス部分以外を折り曲げたりしないでください。

01. 次のエコインテリアデザインに関する記述の **A** ~ **H** に、下記語群から最も適切ものを選び解答欄の番号にマークしなさい。

- 1) 天然素材であれ、人工素材であれ、その摂取から廃棄までの全プロセスを通じて極力、環境負荷を抑えながら、人間にとって本当に心地よいインテリア空間や製品をつくっていくことが **A** である。さて、それには二つの意味がある。一つは、グローバルな視点に立った科学的な倫理性と客観的な評価方法に基づいて適切な素材選択や加工方法について考えるデザイン手法である **B**。そしてもう一つは、自然環境との共生を前提とするエコロジカルな価値観に立脚した社会、地域、住環境、そしてインテリアのあり方を探ることが **C** である。デザインがこの双方の意味を兼ね備えてこそ、私たちの文明を **D** (持続可能性) なものに変えていくデザインの力になれるのである。

語群：1) エコロジカルインテリアデザイン(Ecological interior Design)
2) エコインテリアデザイン(Economy interior Design)
3) 環境配慮型デザイン(Environmental conscious Design)
4) サステナブル(Sustainable)

- 2) インテリア空間にしる、製品にしる、地球環境に与える負荷の質と量を評価する場合、時間の経過とプロセスを考慮に入れることが、きわめて重要である。材料摂取から廃棄までの全ての段階における環境負荷を想定し評価する方法を **E** といい、その総量を低減する方策をライフサイクルデザインという。まず、インプットを減らすこと。地球環境に悪影響がでない範囲で可能な限り少ない資源を使ってものをつくること。これを **F** という。また使われなくなっても、まだ使えるものは **G** (再利用) する。そのまま使われなくても、素材のレベルまでも分別して使い終わったものは、出来るだけそのまま微生物に分解させて、土に戻し **H** させ、再び資源として循環させる。

語群：1) ライフサイクルアセスメント(Life cycle assessment)
2) リサイクル(Recycle)
3) 生分解(Bio-degradable)
4) リデュース(Reduce)

02. 次の日本のインテリアの歴史に関する次の記述の **A** ~ **L** の部分に、それぞれの語群の中から最も適切なものを選び、解答欄の番号にマークしなさい。

- 1) **A** は平安時代における貴族の住居である。これは寢殿を中心に東、西、北、に家族の住居である **B** を配して、南には池を設けたものである。対屋と寢殿とは **C** という廊下で結ばれていた。なお、建物の周辺は跳ね上げ式の板戸である **D** がついて内部と仕切られていた。

語群：1) 寢殿造り 2) 蔀戸(しとみど) 3) 対屋(たいのや) 4) 渡殿(わたりどの)

- 2) 書院造りは、鎌倉時代の武士のための住居である。部屋には畳が敷き詰められ、柱はそれまでのものから、**E** に取り代わった。また柱間には障子、襖や横棧とへぎ板とで構成された **F** などの引き戸式の建具が用いられた。大きな特色は、名前の由来となった **G** や床が設けられ、天井が張られ、格式の高い部屋には **H** が採用された。

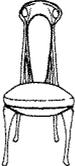
語群：1) 角柱 2) 格天井(ごうてんじょう) 3) 舞良戸(まいらど) 4) 付け書院

- 3) **I** とは「変わった家」、「風雅な家」を意味する。この形式の造りは主として **J** の町人の住居である。本格的には **K** の延長上にあるものだが、民家の趣を取り入れた **L** の影響を受けている。これは単純で、しゅれた意匠のものが好まれ、現代の和室のデザインはこの流れを汲むものである。

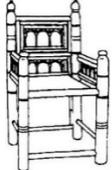
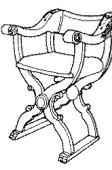
語群：1) 数奇屋 2) 江戸時代 3) 茶室 4) 書院造り

03. 次のA～Dは西洋家具のあるグループである。それぞれのグループの中に一つだけ時代の異なったものが含まれている。それを選び出し解答欄の番号にマークしなさい。

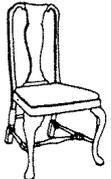
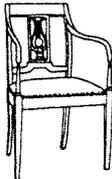
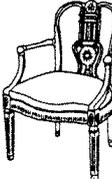
A) 古代エジプト時代の椅子

1)ツタンカーメンの黄金の玉座	2)エクトル・ギマルルの椅子	3)大臣のスツール	4)新王朝時代の椅子
			

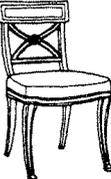
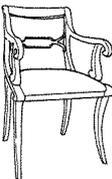
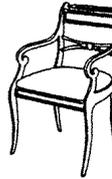
B) ルネッサンス時代の椅子

1)スガベルロ	2)ロクロ加工の椅子	3)ダンテスカ	4)サボナローラ
			

C) ネオクラシック時代の椅子

1)クイーン・アン様式の椅子	2)シェラトン様式の椅子	3)アダム様式の椅子	4)ヘッフルホワイト様式の椅子
			

D) アンピール様式の椅子

1)ビーダーマイヤー様式の椅子	2)ダンカン・ファイフの椅子	3)後期ジャコビアン様式の椅子	4)リージェンシー様式の椅子
			

04. 次の造形美に関する記述の **A** ～ **G** に、下記語群の中から最も適切なものを選び、解答欄の番号にマークしなさい。

1) 視覚的に、形や色などの釣合、もしくは平衡がとれている状態を **A** がとれているという。この代表的な状態に左右対称の **B** がある。左右対称になっていない状態を **C** というが、このような状態にあっても **A** を保つことがデザインである。このような状態を保っていないことを **D** という。

語群： 1)シンメトリー 2)アシンメトリー 3)バランス 4)アンバランス

2) 部分と部分、部分と全体との数量的関係の比例を **E** といい、デザインではよく用いられる。この原理は古くから造形的に使われてきた。例えば、ある線分を2分した時、大きい部分と小さい部分の比が大きい部分と全体との比にちょうど等しくなるような分割比を **F** といい、さまざまな造形物に使われてきた。また、長方形での比例で、 $1 : \sqrt{2}$ 、 $1 : \sqrt{3}$ ・・・等の場合を **G** といい、特に、 $1 : \sqrt{2}$ 長方形は紙の規格に用いられ、半分に折ってもやはり $1 : \sqrt{2}$ になる。

語群： 1)ルート長方形 2)プロポーション 3)黄金比

05. 次のインテリア計画に関する記述に相当する最も適切な語句をそれぞれの語群から選び、解答欄の番号にマークしなさい。

A) 一定の範囲で人間が手や足を動かして平面的に作業のできる空間領域。

語群：1) 垂直作業域 2) 水平作業域 3) 立体作業域

B) 人間の身体や動作などに合わせて作られた相対的な空間の尺度。

語群：1) インティメートスケール 2) アウトオブスケール 3) ヒューマンスケール

C) 人間がある動作を行うに必要な空間量に物やゆとり量を加え、直交座標軸で正規化(矩形の空間の型)して、モジュール寸法を与えた立体空間

語群：1) 単位空間 2) 室空間 3) 動作空間

D) 家具の中で、椅子やベッドのように人間の身体と極めて関連の強い家具

語群：1) アーゴノミー系家具 2) シェルター系家具 3) セミアーゴノミー系家具

E) 人間同士がコミュニケーションをとりやすいように相互に向き合った形に配置する位置関係

語群：1) ソシオファーガル 2) ソシオペタル 3) パーソナルスペース

F) 誰でもドアノブは右に回す等、人が無意識のうちに取る行動・動作等のクセや傾向

語群：1) ヒューマンエラー 2) ボデーランゲージ 3) ポピュレーションステレオタイプ

06. 次の室内環境の単位等に関する記述の **A** ~ **I** に最も適切なものをそれぞれの語群から選び、解答欄の番号にマークしなさい。

1) 熱は高温部から低温部へと移動する。物質間の熱の移動を伝導というが、この時の熱の伝わり易さを表す単位として **A** が用いられる。

語群：1) 熱伝導率 2) 熱貫流率 3) 熱対流率

2) 人間が暑さや寒さを感じるのは、温度、湿度、風速、放射などの因子が影響する。この暑さ寒さを表す指標の1つとしてヤグローの提唱した **B** があり、温度、湿度、風速の3要素を考慮したものである。

語群：1) 有効温度(ET) 2) 新有効温度(ET*) 3) 修正有効温度(CET)

3) 窓から外光を取り入れることを採光という。採光による室内の明るさを表す度合が **C** で、これは全天空照度と室内のある点の照度の比を百分率(%)で表したものである。

語群：1) 均斉度 2) 色温度 3) 昼光率

4) 空気には水蒸気が含まれており、その量は温度の上昇と共に増える性質がある。空気中の水蒸気量を表す指標には幾つかあるが、一定温度の空気の飽和水蒸気圧に対するそのときの水蒸気圧の割合で示すものが **D** である。

語群：1) 相対湿度 2) 質量絶対湿度 3) 容積絶対湿度

5) 音には強さ、高さ、音色の3つの属性がある。強さはエネルギーの大きさをいい、**E** で表される。高さは音の高低のことであり、周波数、すなわち **F** である。また、音色は主に、周波数成分によって決まり、簡単にいえば、波形の違いといっても良い。

語群：1) NC 値 2) db(デシベル) 3) Hz(ヘルツ)

6) 音には反射、吸音、透過、遮音、回折などの性質がある。遮音とは障害物をもうけて音が伝わらないように遮断することをいう。それは入射音と透過音との差で表され、**G** で表される。また吸音とは音のエネルギーが吸収されることをいい、入射エネルギーに対して吸収されたエネルギーの割合を **H** といい、入射エネルギーに対して反射された割合を **I** という。

語群：1) 吸音率 2) 反射率 3) 透過損失

07. 次の木および木質材料に関する記述のうち、正しいものは「1」を、正しくないものは「2」を選び、解答欄の番号にマークしなさい。

- A) ケヤキ、ナラ、クリなどの樹種を針葉樹といい、通常軟木と呼ばれる。
- B) 突板とは、木材を薄くスライスしたものをいい、0.5~1 mm のものを厚突きという。
- C) 木材の小片を接着剤で固め面材としたものをウェハーボードといい、JAS(日本農林規格)で規定されている。
- D) 木材を薄く細長く削った木毛にセメントと水を加え、板状に加圧成形したものが木毛セメント板で、通常、準不燃材として扱われる。
- E) 木材の欠点の一つとして節が挙げられる。生節は節が抜け落ちて穴があく。
- F) 木材は、強度的に引っぱりに対して弱く、せん断に対して強い性質がある。
- G) 木材などの植物繊維のものを原料としてこれを繊維質にまで分解して、合成樹脂を加え成形したもので、密度によって、インシュレーションボード、MDF、ハードボードに分類され、JIS(日本工業規格)によって規定される。

08. 次の鉱物材料に関する記述に該当するものをそれぞれの語群から選び、解答欄の番号にマークしなさい。

- A) 通称御影石と呼ばれ、石質は緻密で硬く、床材等に用いられる。

語群：1)安山岩 2)花崗岩 3)砂岩 4)蛇紋岩

- B) 変成岩の一つで、石質は緻密で強度があり、吸水性も小さく適度な強度があるが、酸、アルカリに弱い。トラバーチンもこの一種で、虫食い状の細かい穴があり独特の風合いがある。

語群：1)粘板岩 2)大谷石 3)鉄平石 4)大理石

- C) 石材の表面仕上げの一つで、花崗岩の表面に火を吹き付けて石英などを焼いて表面を粗く滑りにくくする。

語群：1)ジェットバーナー 2)バフ仕上げ 3)小叩き 4)サンドブラスト

- D) 普通ガラスに微量のニッケル、コバルト等を加えて作る着色ガラス。通称、ブルーペン、ブロンズペンなどと呼ばれる。

語群：1)型板ガラス 2)熱線吸収ガラス 3)強化ガラス 4)熱線反射ガラス

- E) ガラスの数倍の強度を持ち、曲げ加工や穴開けも簡単、透明度も高く、ガラスと合わせて防犯ガラスとして使われている。

語群：1)ポリカーボネート 2)ポリエステル板 3)合わせガラス 4)ガラスブロック

- F) ガラスの加工法の一つで、板ガラスに圧縮空気と研磨材を吹き付けて表面を彫刻する。

語群：1)フロスト加工 2)SSG工法 3)サンドブラスト 4)フロート法

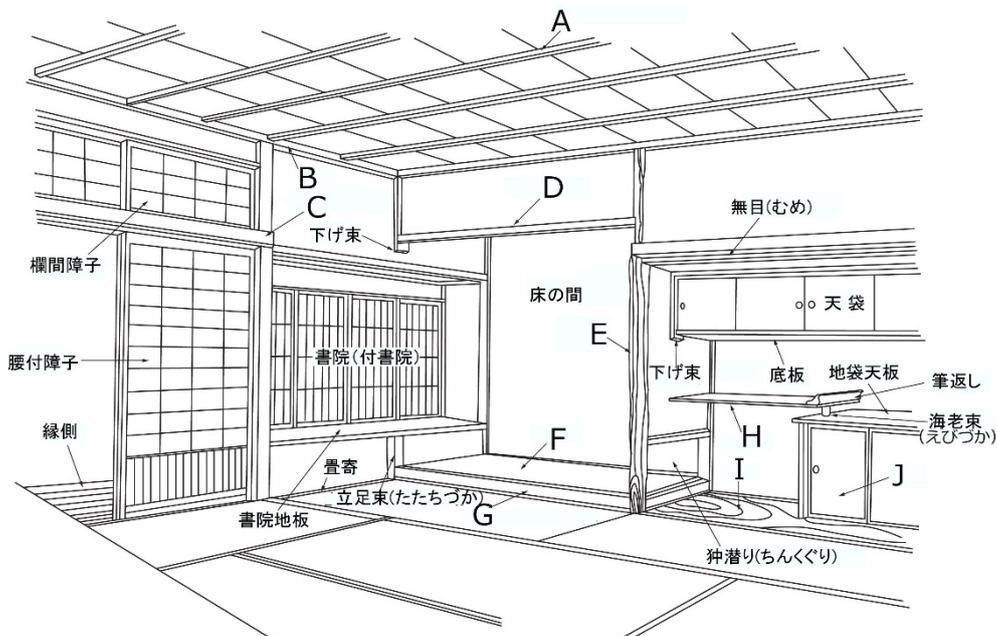
- G) タイルの中で最も焼成温度が高く、緻密で硬くほとんど吸水しない。床、外装等に用いられる。モザイクタイルなどがある。

語群：1)陶器質タイル 2)せつ器質タイル 3)磁器質タイル 4)土器質タイル

- H) タイル目地はタイルの裏に水が回り込むのを防いだり、浮き上がりの防止などの役割を果たすが、目地を設けない形状は。

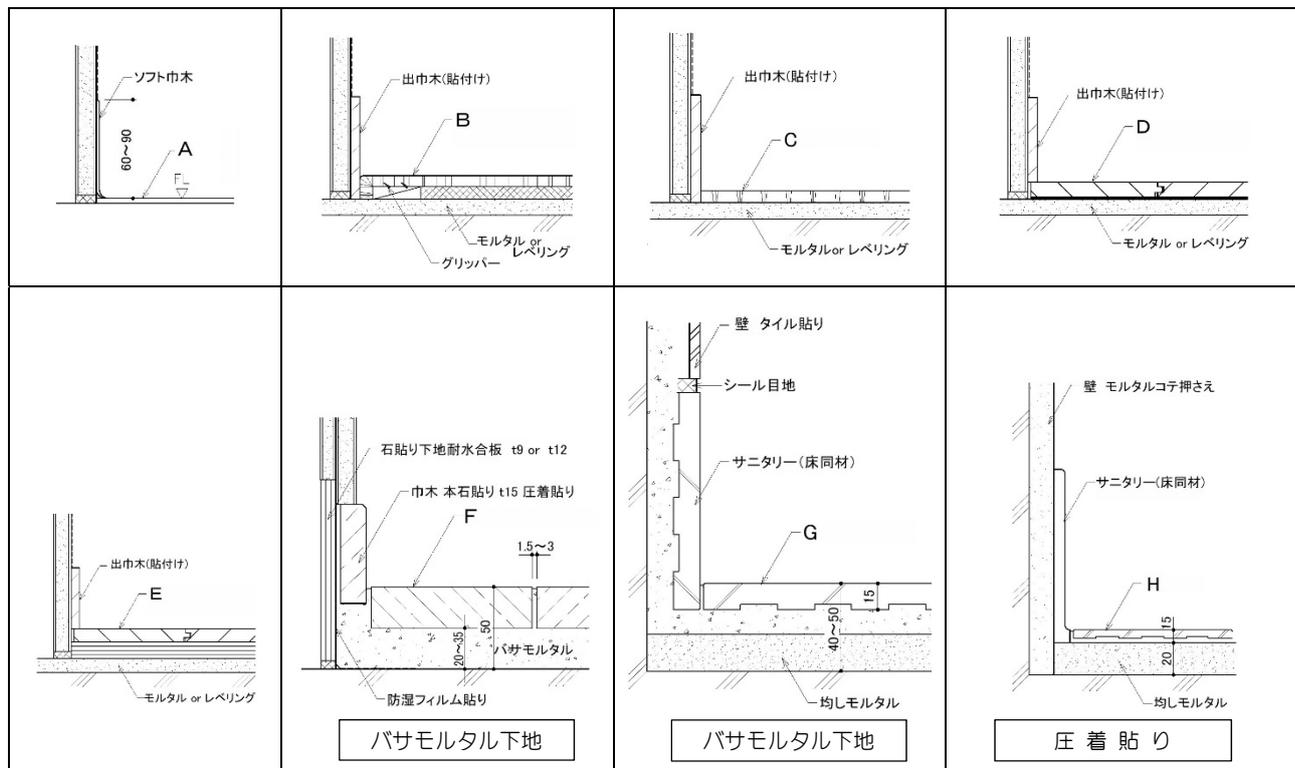
語群：1)平目地 2)芋目地 3)ねむり目地 4)深目地

09. 和室床の間に関する部位名称を下記語群から選び、解答欄の番号にマークしなさい。



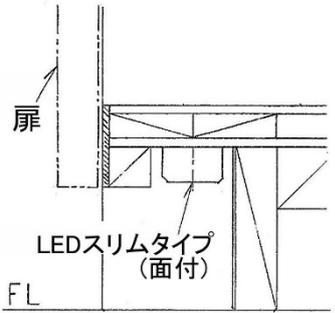
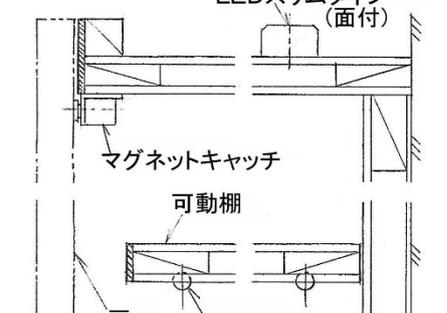
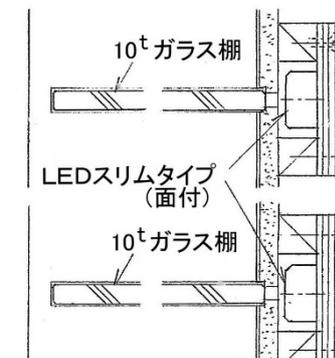
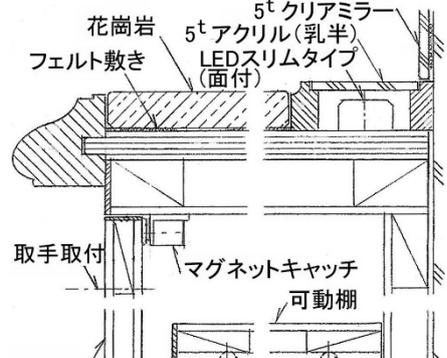
語群：1)床板	2)地袋	3)回縁	4)落し掛け	5)長押
6)床柱	7)竿縁	8)地板	9)違い棚	10)床框

10. 次の図は、巾木、床取り合い納まり(スラブ直仕上げ)の例である。A～Hの床仕上げに適したものを下記語群から選び、解答欄の番号にマークしなさい。



語群：1)タイル	5)塩ビシート
2)クリンカータイル	6)本石貼り(t20～t30)
3)直貼り用フローリング(t12～t15)	7)タイルカーペット
4)フローリング(t9～t18 合板下地 t12)	8)カーペット(t7～t12 フェルト t8)

11. サイズの小型化、放熱問題の解消、耐用時間などの利点でLEDが照明光源の主流となり、家具への組み込みも容易になった。タイプによってはACアダプターが必要であったり、スイッチや配線などその都度解決すべき点もあるが、これは従来も同じといえる。
 次のA～Eの部分断面図は、家具のどのような部分に照明を取り付けたものかを説明文から、また、関係すると思われる事項を記述から選び、解答欄の番号にマークしなさい。

<p>A</p> 	<p>B</p> 	<p>C</p> 
<p>D</p> 	<p>E</p> 	<p>説明文</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) ショーケース内部の照明 2) バックカウンターのアップライト 3) エッジライティング照明 4) 戸棚、ナイトテーブルなどのフットランプ 5) 戸棚上部のアップライト

記述	<ol style="list-style-type: none"> 1) 棚板見懸りが光るアクセントと陳列品の演出。 2) 床面の補助照明と家具の演出を兼ねる。光源や反射光が映り込まない床仕上げを考慮する。 3) 家具上部の壁面と天井を照らす間接照明。主照明の補助と家具の演出。 4) 天板上に置かれる物や商品の演出効果及びサービススペースの補助光。 5) 家具内部の照明として展示品の演出効果を高める。
----	--

12. 次の塗料に関する記述に最も適切なものを下記語群から選び、解答欄の番号にマークしなさい。

- A) 乾燥が速く作業性が良い。硝化綿を主成分とし、樹脂、可塑剤、溶剤から構成される。
- B) 乾性油のアマニ油が主成分。素地に浸み込ませた後に拭き上げる方法で塗装されるため、塗膜をほとんど残さない。マイクロフィニッシュとも呼ばれ、乾燥は遅い。
- C) ボイル油に顔料を練り込んだエナメル仕上塗料。原色の調合により自由に色調が得られる。通称ペンキと呼ばれ、屋内外に使用されるが乾燥は遅い。
- D) 主成分となる樹脂に硬化剤となる樹脂を混合すると常温で反応硬化する2液型の塗料。家具には多用される。
- E) 紫外線照射により短時間で硬化し、硬度が高く厚い塗膜が得られるが、その反面メンテナンスには手間がかかる。

語群：1) 油性調合ペイント(OP)	2) UV 塗料	3) クリアラッカー(LC)
4) ポリウレタン樹脂塗料(②UC)	5) オイルフィニッシュ用塗料	

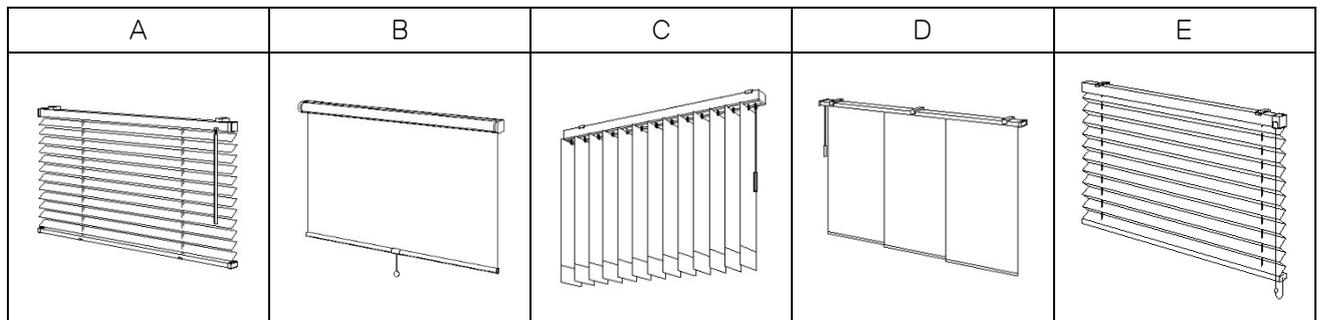
13. 次のカーテンに関する記述のうち、正しいものは「1」を、正しくないものは「2」を選び、解答欄の番号にマークしなさい。

- A) カーテンの厚さは、ドレープ、ケースメント、レースに分類できるが、最も厚手なものがドレープである。
- B) レースは透過性があるが、やや厚手で、装飾性があり、夜が長い北欧で開発されたものである。
- C) プリントカーテンは、通常、ドレープより薄手の無地の布に、後加工により柄をつけたものである。
- D) タッセルはカーテンを束ねるために用いられるため、通常、共生地を用いてつくられる。
- E) カーテンは光の調整機能が主で、内外部との熱や音の遮蔽はほとんど役に立たない。
- F) カーテンレールの長さは窓幅とおなじ長さにしておけばよい。
- G) ドレープを仕立てる場合、光や冷気もれないようにするため、長さは通常、床から1~2cm上がりとする。
- H) カーテンを引き分け、両開きとする場合、カーテン生地節約のため、交差はさせない。
- I) 腰窓の場合、カーテンの長さは、窓枠の下端にそろえて仕上げる。
- J) 天窓には通常、スカラップスタイルのものが付けられる。

14. 次の壁紙に関する次の記述のうち、正しいものには「1」を、正しくないものには「2」を選び、解答欄の番号にマークしなさい。

- A) 壁紙仕上げの下地材として、現在最も普及している材料はプラスターボードである。
- B) 塩化ビニール系の壁紙に∞PVCマークの表示が義務付けられているのは、廃棄焼却時にダイオキシンが発生しない高温焼却炉が必要なことから、解体時の分別を容易にするためである。
- C) ビニールクロス表面には、防カビ、抗菌、消臭、ホルムアルデヒド吸着などの特殊加工をすることはできない。
- D) 壁紙は50m巻きが多く、保管時は必ず横置きにしなければならない。
- E) ベタ貼りとは、壁紙の裏面全面に糊をつけて貼ることをいい、一般にはあまり使われない施工法である。

15. 次のイメージ図で示したウインドウトリートメントの名称を語群Aから、説明文を語群Bから選び、解答欄の番号にマークしなさい。



語群A：名 称		語群B：説 明	
1	ブリーツスクリーン	1	竹ひごや葦を糸でつないだ、日本古来のウインドウトリートメント。固定式と巻き上げ式がある
2	バーチカルブラインド	2	横型の羽(スラット)の角度を変えることにより外光や視線を調整、上下に開閉するタイプ
3	ベネシャンブラインド	3	巻き取りチューブに布製のスクリーンを巻き取って昇降させるタイプ、シンプルな形が特徴
4	すだれ	4	ブリーツ状の不織布などを上下させて外光や視線を調整、和室の空間にも合わせやすい
5	パネルスクリーン	5	縦型の羽(ルーバー)の角度を変えることにより外光や視線を調整、上部に取り付けたレールにルーバーをスライドさせて左右に開閉するタイプ
6	ロールスクリーン	6	布製スクリーンをレールに吊り、スライドさせて左右に開閉する

16. 次の、空調・換気・冷暖房設備に関する説明文に最も適切なものをそれぞれの語群から選び、解答欄の番号にマークしなさい。

A) ダクトを用いた天井埋め込み型換気設備の換気扇に、一般に多く用いられるものは次のうちどれか。

語群：1)プロペラファン 2)シロッコファン 3)熱交換型換気扇

B) シックハウス対策として、住宅について認められていない換気方式は次のうちどれか。

語群：1)自然換気 2)第二種換気 3)第三種換気

C) 次の冷房・暖房設備のうち、室内ユニットと室外ユニットのペアで構成されているものはどれか。

語群：1)ファンヒーター 2)ヒートポンプエアコン 3)パネルヒーター

D) 1台で冷房と暖房の両方の機能を持つ空調設備機器は、次のうちどれか。

語群：1)ヒートポンプエアコン 2)ファンヒーター 3)電気式床暖房

E) 伝導、対流、輻射(放射)の3種類の熱の伝わり方のうち、輻射(放射)を利用した暖房機器は次のうちどれか。

語群：1)温水式床暖房 2)ホットカーペット 3)ヒートポンプエアコン

17. 給排水・衛生設備に関する説明文に最も適切なものをそれぞれの語群から選び、解答欄の番号にマークしなさい。

A) キッチンの組込み機器のうち、電気を使った加熱機器で電磁式のもものは次のうちどれか。

語群：1)シーズヒーター 2)ハロゲンヒーター 3)IHヒーター

B) 便器の洗浄方式で優れているとされるサイホンボルトテックス式の特徴はどれか。

語群：1)水たまり面が最も広い 2)最も節水できる 3)水を貯めるタンクが不要

C) スロップシンクの名称で呼ばれるものは次のうちどれか。

語群：1)掃除用流し 2)洗髪できる大型洗面器 3)カウンターと一体型の洗面器

D) ユニットバスのタイプのうち、完成品を設置するので、構造壁を作る前に搬入しなければならないものは次のうちどれか。

語群：1)ノックダウンタイプ 2)フルユニットタイプ 3)キュービックタイプ

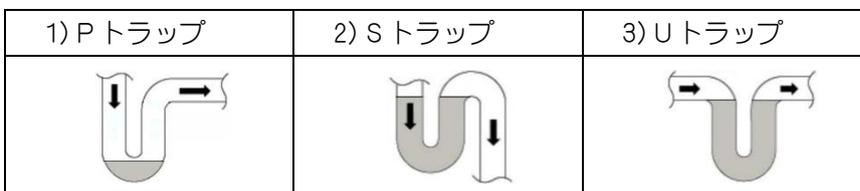
E) ガス式給湯器の給湯能力は号数で表されるが、20号は次のうちどれか。

語群：1)10ℓの水を1分間に20℃上昇させる 2)20ℓの水を1分間に20℃上昇させる
3)20ℓの水を1分間に25℃上昇させる

F) 排水管からの悪臭の逆流や衛生害虫の侵入を防ぐ目的で、キッチンや洗面台などの排水系統の途中に設けられるものは次のうちどれか。

語群：1)トラップ 2)ドレーン 3)枳(ます)

G) 次のトラップの図のうち不適切なものはどれか。



18. 次の電気設備に関する説明文に最も適切なものをそれぞれの語群から選び、解答欄の番号にマークしなさい。

A) ホームエレベーターの積載加重で適切なものはどれか。

語群：1)制限なし 2)200kg(3人)以下 3)500kg(5人)以下

B) ホームエレベーターとして不適切な規模や性能は、次のうちどれか。

語群：1)昇降高低は10m以下 2)床面積は1.1㎡以下 3)定格速度は毎分50m以下

C) 寝室と寝室がある階の階段に設置しなければならない住宅用火災報知器は、どのタイプが適切か。

語群：1)熱感知式 2)煙感知式 3)一酸化炭素感知式

D) 照明器具に用いられる次の光源のうち、白熱系に分類されるものはどれか。

語群：1)ハロゲンランプ 2)HIDランプ 3)電球型LED

E) 一般のLED光源の特徴として不適切なものは、次のうちどれか。

語群：1)消費電力が小さい 2)寿命が長い 3)紫外線が発生する

19. 次のインテリア関連法規に関する記述の **A** ~ **M** に最も適切なものをそれぞれの語群から選び、解答欄に番号にマークしなさい。

1) 人間が住まう個所には自然採光が欠かせないという観点から、採光に必要な開口部面積は、住宅の居室の場合、その床面積に対して **A** 以上、学校の教室、保育室などでは **B** 以上、さらにその他 **C** 以上などに決められている。なお、天窓はたくさんの光が取り入れられることから、**D** 以上であれば良いとされる。

語群：1)1/5 2)1/7 3)1/10 4)1/21

2) 居室には換気のために窓、開口部が必要であるが、その面積は床面積の **E** 以上としなければならない。なお、その有効面積とは、引き違いの場合、窓面積の **F**、両開きや回転窓の場合には **G** となっている。また、シックハウス症候群を防止する意味から、台所以外にも住宅のあらゆる居室に換気扇を設けることが義務づけられている。

語群：1)1/1 2)1/20 3)1/2 4)1/10

3) 住宅の階段も使用・安全上多くの規定が設けられている。まず、住宅の階段の幅は **H** cm 以上、蹴上げ寸法は **I** cm 以下、踏面寸法は **J** cm 以上と定められている。なお、回り階段の踏面は狭い方から **K** cm の位置で測ることとなっている。

語群：1)15 2)23 3)30 4)75

4) 居室の天井高は **L** m 以上とする。なお、傾斜天井の場合、最も低い個所で2.0m、最も高い個所が3.0mの場合、天井高は **M** m とみなされる。

語群：1)2.0 2)2.1 3)2.4 4)2.5

第 56 回 インテリア設計士資格検定

＜ 2 級学科試験解答 ＞

01.

A	B	C	D	E	F	G	H
2	1	3	4	1	4	2	3

02.

A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L
1	3	4	2	1	3	4	2	1	2	4	3

03.

A	B	C	D
2	2	1	3

04.

A	B	C	D	E	F	G
3	1	2	4	2	3	1

05.

A	B	C	D	E	F
2	3	3	1	2	3

06.

A	B	C	D	E	F	G	H	I
1	1	3	1	2	3	3	1	2

07.

A	B	C	D	E	F	G
×	○	×	○	×	×	○

08.

A	B	C	D	E	F	G	H
2	4	1	2	1	3	3	3

09.

A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
7	3	5	4	6	1	10	9	8	2

10.

A	B	C	D	E	F	G	H
5	8	7	3	4	6	2	1

11.

/	A	B	C	D	E
説明文	4	5	1	3	2
記述	2	3	5	1	4

12.

A	B	C	D	E
3	5	1	4	2

13.

A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
○	×	○	○	×	×	○	×	×	×

14.

A	B	C	D	E
○	○	×	×	×

15.

/	A	B	C	D	E
名 称	3	6	2	5	1
説 明	2	3	5	6	4

16.

A	B	C	D	E
2	1	2	1	1

17.

A	B	C	D	E	F	G
3	1	1	3	3	1	1

18.

A	B	C	D	E
2	3	2	1	3

19.

A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M
2	1	3	4	2	3	1	4	2	1	3	2	4

第56回インテリア設計士資格検定試験 2級学科解答用紙

受験 支社 [] インテリア設計士協会

フリガナ

氏 名

受験番号

01	00000000
02	00000000
03	00000000
04	00000000
05	00000000
06	00000000
07	00000000
08	00000000
09	00000000
10	00000000

注意事項

◎解答欄は鉛筆でマークし、本欄には 機密に 守ります。
 ◎マークは必ず正しく読み取れるよう、消しゴムで丁寧に消していただきます。
 ◎解答欄は、2点を単位とし、解答欄に記入してください。解答欄の記入ミスや
 ◎マークが不明瞭な場合は、採点時に不正と見做され、採点に及ばない
 こととなりますので、十分注意してください。
 ◎採点欄にマークしたり、記入しないでください。
 ◎マークミスや、マークミスは採点時に訂正され
 ないでください。

01. 1 2 3 4

A ○ ● ○ ○

B ● ○ ○ ○

C ○ ○ ● ○

D ○ ○ ● ○

E ● ○ ○ ○

F ○ ○ ○ ●

G ○ ○ ○ ○

H ○ ○ ○ ○

02. 1 2 3 4

A ● ○ ○ ○

B ○ ○ ○ ○

C ○ ○ ○ ○

D ○ ○ ○ ○

E ○ ○ ○ ○

F ○ ○ ○ ○

G ○ ○ ○ ○

H ○ ○ ○ ○

I ○ ○ ○ ○

J ○ ○ ○ ○

K ○ ○ ○ ○

L ○ ○ ○ ○

03. 1 2 3 4

A ○ ○ ○ ○

B ○ ○ ○ ○

C ○ ○ ○ ○

D ○ ○ ○ ○

E ○ ○ ○ ○

F ○ ○ ○ ○

G ○ ○ ○ ○

H ○ ○ ○ ○

I ○ ○ ○ ○

04. 1 2 3 4

A ○ ○ ○ ○

B ○ ○ ○ ○

C ○ ○ ○ ○

D ○ ○ ○ ○

E ○ ○ ○ ○

F ○ ○ ○ ○

G ○ ○ ○ ○

H ○ ○ ○ ○

05. 1 2 3

A ○ ○ ○ ○

B ○ ○ ○ ○

C ○ ○ ○ ○

D ○ ○ ○ ○

E ○ ○ ○ ○

F ○ ○ ○ ○

06. 1 2 3

A ○ ○ ○ ○

B ○ ○ ○ ○

C ○ ○ ○ ○

D ○ ○ ○ ○

E ○ ○ ○ ○

F ○ ○ ○ ○

G ○ ○ ○ ○

H ○ ○ ○ ○

I ○ ○ ○ ○

実際の解答はマークシートです。⇒